

集団における流行性角結膜炎発生時の注意点

- 潜伏期間は 7～14 日、眼の異物感、流涙・目ヤニで急に発症します。
- 発症 3 日前から治癒までの約 2 週間、涙や目ヤニで汚染された手指、タオル類などを介して人にうつります。
- 手で眼をこすらないようにしましょう。
- 点眼前後には手洗いをおこない、点眼時は容器にまつげが触れないようにしましょう。
- 適宜、手洗い・手指アルコール消毒をおこないましょう。
- よく触れるドアノブ等は、適宜アルコールで拭き取り消毒しましょう。
- タオルや洗面具の共有は控え、ペーパータオルを使うとよいでしょう。
- 目ヤニや涙はティッシュペーパーなどで拭き取り、ビニール袋に入れて密封しましょう。
- 共同のプール・シャワーを使う場合、順番を最後にしましょう。使用後は、通常の清掃をしましょう。
- 食器類の消毒は不要です。
- 涙などのついた洗濯物は、保護者にお返しする際には正しい洗い方（熱湯での消毒（100℃で5秒以上）、または、塩素系漂白剤に30分浸漬したあと通常の洗濯）をお伝えください。なお、やむを得ず施設内で洗濯される場合は上記の洗い方にて洗濯しましょう。
- 感染力があるうち（結膜炎症状のあるうち）は、他の人にうつさないように十分注意しましょう。

